

## 『 技修会 』 学術講演会

日 時 平成29年6月3日 (土)

時 間 14:00~16:30

会 場 鶴見大学記念館 2階 第2講堂

参加費 無 料

講 師 遊亀 裕一 先生

演 題 「生体と調和する歯周組織にやさしい歯冠修復物」



歯と歯肉と骨が適切な関係になっている生物学的幅径の状態で作成した歯冠修復物は、歯周にやさしいと言えるでしょう。しかし、実際の技工で受注するのは、捻転歯や矯正治療を行う予定のない歯列不正、歯頸線が不揃いでエンブレジャーが不規則な広さで観察される歯列群、歯周治療の安定後に大きく歯肉退縮した歯などが修復対象で、むしろ生物学的幅径の歯周組織環境による技工依頼は少ないのが現状です。しかし、私達歯科技工士が多くの歯科医師から求められているのは、様々な条件下でも術後トラブルの少ない機能と審美を維持できる生体と調和した歯周にやさしい歯冠修復物です。

今回は、歯周組織にやさしい歯冠修復物のために、歯科技工士の視点から私の考えを臨床例とともに述べ、皆様のお役に立ちたいと考えています。

### 略 歴

1977年：日本大学歯学部附属歯科技工専門学校卒

1988年：横浜市にて（有）山手デンタルアート開業

2006年：明倫短期大学臨床教授就任（現在に至る）

2009年：文部科学省委託事業

潜在的歯科衛生士の再就職促進研修会講師

2010年：全国歯科技工士学校教員協議会、研修会講師

2017年：日本口腔インプラント学会認定講習会講師

現 在：有床義歯学会監事、日本歯科色彩学会理事、  
日本顎咬合学会指導歯科技工士、日本歯科審美学会会員、  
日本臨床歯科補綴学会会員、Wクリック会員  
京セラメディカルセミナー講師、GCセミナー講師

